

vol. 50
DECEMBER 2019



sapporo education and culture hall news

Raku



札幌で広がる、和文化の楽しみ。

能楽公演に絡めた、これまでの展示

「和文化プロジェクト」の展示をご紹介。公演に展示や和装特典を加えることで、伝統芸能を観劇する楽しさをより多くの人に広げていきたいと考えています。

〔能楽なう〕公演

ロビーでの和小物展示と野点傘

2018年6月12日(火)

「新しい日本文化の創造」をコンセプトに、オリジナルテキスタイルによる地下足袋や和服等を製作販売する「SOU・SOU(ソウソウ)」さん、風呂敷に秘められた日本の良さを、現代のライフスタイルに活かしたデザインやスタイルとして提案する「むす美」さん、古典的な扇子だけでなく洋の感覚を取り入れたファッショニ性の高い扇子やアーティストとのコラボレーション品までを揃える1718年創業の「白竹堂」さんの商品を紹介し、好評を博した展示。展示台や野点傘には、大道具に精通している舞台スタッフのアイデアが生かされています。



教文スタッフ一同、和服でお客様をお出迎え、展示がより雰囲気のあるものになりました。



〔能楽なう〕公演

「能面×花」コラボレーション展示

2019年9月4日(水)

「能面」と「建物の中に出現した庭園」という二つの非日常を組み合わせた展示は、フラワーデザイナーのYANASEさんと能面作家の外沢照彦さんにご協力いただいて実現。隣に設けた能面を掛けるコーナーは、能面を掛けたときに演者の視野が極端に狭められることを体験できるとともに、記念撮影スポットとしても好評をいただきました。見所あるロビー展示や能面を掛けるコーナーなど、撮影ポイントをたくさん用意することで、来場記念の思い出を写真としても残していただけるよう工夫しています。



札幌文化芸術交流センター SCARTS 〔能楽なう〕イベント

開かれる幽玄の世界～能楽展示～

2019年7月12日(金)～15日(月・祝)

札幌市教育文化会館初の試みとなった館外での能楽展示で、札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTSとの連携により実施。能面は札幌能楽会の皆さんに選んでいただき、台座での実物展示、2対の能面がまるで宙に浮いているかのように見える展示、スクリーンに投影された能面の連なりがゆっくりと動く映像展示など、新しい見せ方に挑戦。SNSでもたくさん感想をつぶやいていただき、当初の目標を大きく上回る1350名の動員を記録するなど、手応えを感じる展示となりました。



最初の取り組みは、2018年6月の能楽公演時に開催したロビー展示です。京都ブランドの和小物を紹介したほか、お客様がくつろいで歓談できるよう野点傘スペースを設置。札幌芸術の森にあるクラフト工房で製作したオリジナル暖簾も入口にかけ、和の雰囲気を演出しました。また、伝統芸能の公演を和服で観劇する楽しさを提案したいという思いから、和装の方や和小物を取り入れた装いの方にプレゼントを実施しています。

2019年には教文和文化プロジェクトのロゴマークも完成。情報誌「樂」で48号から「教文和文化巡り」という連載もスタートし、洋装とミックスしたコーディネート提案に力を入れるカジュアル着物のお店「キモノハナパセオ店」さん、札幌の利点を生かした品揃えでライフスタイルに合う日本茶を提案する日本茶専門店「玉翠園」さんを紹介(今号では、身近にあるものをモチーフに描き注目を集めている日本画家の葛西由香さんをご登場いただいている)。本連載では、伝統を尊重しながらも、自由な気風を持つ札幌ならではの視点で発信される和文化の魅力を取り上げていく予定です。今後も、プロジェクトを通じて緩やかにつながっていく人たちとの輪を伝統芸能事業の展開にも生かしながら、札幌ならではの和文化の楽しみを伝えていけたらと考えています。

和文化プロジェクト

ロゴイメージ

プロジェクトをより多くの方へ伝えていくため、ロゴマークを制作しました。ビジュアルイメージは、切り絵作家の最上怜香さん、題字は書家の若山象風さんに書いていただきました。



[特集]

札幌で広がる、和文化の楽しみ。

札幌市教育文化会館で2018年から始まった「和文化プロジェクト」。

さまざまな形で和文化に関わる人たちとコラボレーションしながら、札幌に新たな文化を生み出すことを目指す試みについてご紹介します。

札幌市教育文化会館(以下、教文)で2018年から始まった「和文化プロジェクト」は、これまで札幌で触れる機会の少なかった能、狂言、歌舞伎、文楽などの伝統芸能を積極的に紹介する教文と、さまざまな形で和文化に関わる人たちとのコラボレーションにより、札幌に新たな文化を生み出すことを試みるプロジェクトです。札幌には浴衣で出かける人も多い北海道神宮祭や花火大会、和菓子店や和風カフェ、和小物を扱うショップ、和服で集まるイベントなど、和文化に触れる機会が実はたくさんあります。本プロジェクトは、「点として散らばっていた和に関連するヒト、モノ、コトを、教文の伝統芸能の事業と絡めて総合的に見せることができたら、和文化の楽しさがさらに広がっていくのでは?」という思いから始まりました。

最初の取り組みは、2018年6月の能楽公演時に開催したロビー展示です。京都ブランドの和小物を紹介したほか、お客様がくつろいで歓談できるよう野点傘スペースを設置。札幌芸術の森にあるクラフト工房で製作したオリジナル暖簾も入口にかけ、和の雰囲気を演出しました。また、伝統芸能の公演を和服で観劇する楽しさを提案したいという思いから、和装の方や和小物を取り入れた装いの方にプレゼントを実施しています。

月の能楽公演時に開催したロビー展示です。京都ブランドの和小物を紹介したほか、お客様がくつろいで歓談できるよう野点傘スペースを設置。札幌芸術の森にあるクラフト工房で製作したオリジナル暖簾も入口にかけ、和の雰囲気を演出しました。また、伝統芸能の公演を和服で観劇する楽しさを提案したいという思いから、和装の方や和小物を取り入れた装いの方にプレゼントを実施しています。

「紙あわせ」

展示
報告

〔日時〕10月8日(火)～12日(土)
〔会場〕札幌市教育文化会館

〔会場〕札幌市教育文化会館
10月8日(火)～12日
4階ギャラリー

赤谷翔次郎さん(パインソー)から指名

[プロフィール]

岩杉 夏

Natsu Iwasugi

1987年札幌生まれ。劇団「ディリバレー・ダイバーズ」と『札幌FEDE』に所属し、舞台役者として活動中。過去にはFM北海道「AIR-G'」のラジオパーソナリティや声優・歌唱・モデル等、さまざまな活動歴がある。2018～2019年には、切り絵アクセサリーブランド「糊代」のモデルも務めた。

さつぽろ 演劇のわ

札幌FEDE ディリバレー・ダイバーズ 岩 杉 夏

演劇をする人としてのあり方を
模索したい。

[次回出演情報]

札幌FEDE
『FLASH』

2019年12月27日(金)～2019年12月29日(日)

演劇専用小劇場BLOCH

(札幌市中央区北3条東5丁目1 岩佐ビル1階 サッポロファクトリー 3条館北向)

※公演詳細については、こちらをご覧ください。 <http://fede.pajngsoe.com/>

——演劇の楽しさとは?
お客様と空気を共有できるところ。舞台上の空気が温かくなつたり張り詰めたり、その変化を感じてもらえるのが演劇やライブなど生の醍醐味だと田中。お客様も一緒に演劇をつくっている感じが面白いです。

役器こもは

働きながら演劇に向かい続けるために、もつと効果的な演劇への取り組み方を模索して、作品のつくり方をストイックに研究していきたいです。ただ私が演劇を続ける先に描いているのは、大きな舞台に立つことではあります。役者としての舞台上でのあり方、演劇をする人としてのあり方を模索して、自分が納得できる役者になることができたらと思います。

ている作品は？

デイリバレー・ダイバーズの作品です。客演したときに、これまで自分が経験した演劇とは全く違うやり方でつくつていることに感動して、所属させてもらつた経緯があります。当時はセリフを叫んで格好良いことをするのが演劇だと思つていたのだけど、彼らは台本から登場人物の関わりを読み取り、論理的にシーンを組み立てるつくり方で、今考えると当たり前のことだけど、そこをきちんと教えてもらえて演劇に対する姿勢が変わりました。

札幌FEDDEに所属するこのことを決めたのはなぜですか？
所属メンバーは皆『アニメ』
(※)に出でいた役者で、刺激
や影響をお互いに与えて、高め
合つていける仲間だと思った
のが大きいです。『アニメ』では
あまり他の人と絡まない役
どころだったので、もつとこの
人たちとガチガチにぶつかる
お芝居をしてみたいと思った
ことも理由です。12月の旗揚
げ公演の稽古が始まつたばかりですが、毎回発見があつて面白いですね。

高校で演劇を始め、専門学校卒業後に出会った劇団ディーバレー・ダイバーズで「演劇に対する姿勢が変わった」と言いつて、岩杉夏さん。10年以上にわたりて、さまざまな劇団で客演を重ねてきた彼女の現在（いま）は？

をしながらも、何か一本「自分
節」があるといいなと思つて模
索中です。あと、自分の演技に
ついて客観的に見つめる機会が
あまりないのも良くないと思つ
ていて。仕事をしていることも
あり、限られた稽古時間はどう
してもシーンづくりに勤しむこ
とになつてしまつて、深いところ
まで掘れていないのかもしれ



1)和の雰囲気を醸しながら、オリジナルBGMとともに「死生観」を演出した空間。 2)『水奏』と対となる『彗星組曲』(2018年)。 3)「いつか札幌で切り絵作家のグループ展をしたい」と最上さん。 4)教文や文化プロジェクトのロゴマークに使用された切り絵も展示。 5)『秘密の行方』(2017年)。ハサミ一本から生まれる一番細くて0.2ミリくらいという繊細な線と、奥に生まれる影との美しい重なりに、じっくり見入るお客様も多数。 6)『縫緞』(2018年)。 7)自身の代表作とも言える『水奏』。 8)切り絵アクセサリーブランド「朝代」などグッズも販売。 9)『いろいろた』(2019年) 10)『死に紙』のモデルは作家のブリーバー・小林アキラさん。 11)ハーベン・グラント劇場に置かれた数々の贈呈品によって構成。ナ・死に紙・展示了。



教文和文化巡り

第3回 | 日本画家 葛西由香

伝統芸能とともに日本の文化の魅力を気軽に体感してもらう「和文化プロジェクト」。
連載第3回目は、今札幌で注目を集める日本画家の葛西由香さんをご紹介します。

Japan Culture Tour



[プロフィール]

葛西 由香

1993年北海道生まれ。札幌大谷大学芸術学部美術学科日本画専攻卒業。卒業制作で描いた「見立て」の作品「明治物語」が注目される。今後の予定としては、2020年3月に開催される3331 ART FAIR 2020に参加予定。

<https://kasai-yuka.tumblr.com/>

日常のちょっととしたことを描く「身近な」日本画

コードが絡まったイヤフォンや、たくさんコンセントがつながった電源タップ。身近にあるものをほんのりとユーモアを忍ばせた切り取り方で描き、注目を集めている日本画家の葛西由香さん。子どもの頃から泥団子で遊んだり、きれいな石を拾い集めることが好きだった彼女にとって、天然の鉱物を碎いた岩絵具や、泥に色をつけて乾燥させた水干絵具を画材に用いる日本画との出会いは衝撃だったと言います。「全てのものに魂が宿る」というアニミズムの考えが私は昔から強くて、泥や石でまごとをしたり、ぬいぐるみで遊んだり。そういうごっこ遊びの感覚がずっと抜けずに今に至っています。

絵具を指で練ったり、膠を前日からふやかしたりといふ日本画材に特有の手間も、ままごとのような感覚でホッとします。モチーフも、日常の中まったくことをそのまま描いていて、自分にとって日記のような感覚です。展覧会を開けば、幅広い年齢層の方が訪れます。「同世代だけじゃなく、子どもや年配の方も楽しんでくれるのが嬉しいです。少しでも日本画が身近なものになっていくといいなと思います」。札幌での個展は2020年秋の予定。どうぞ楽しみに。

子ども演劇

[ワークショップ+発表公演]

事業コンセプト

札幌市教育文化会館では平成28年より、公募した小・中学生の参加者が地元劇団の演出家や役者の大人たちと長期間のワークショップを行う中で、演劇的な遊びや表現方法を学びながら一つの作品をつくりあげ、発表公演を行う「子ども演劇ワークショップ」事業を実施しています。2019年度は22名の小・中学生が演出家の納谷真大さん(ELEVEN NINES)と一緒に劇づくりに挑戦、令和2年1月9日(木)に発表公演を行います!

札幌の実力派劇団ELEVEN NINESとともに、あの名作に挑戦!!

ハックルベリーフィンみたくなりたくて

令和2年 1月9日(木) 開演19:00(開場18:30)

札幌市教育文化会館 小ホール

チケット 全席自由 前売一般 1,500円(当日2,000円) 中学生以下 1,000円(前売・当日共通)

*教文ホールメイトは300円引き。(一般料金のみ、教文PGのみ取扱い) *未就学児童をお連れの場合は、必ず当館事業課(011-271-5822)まで事前にご連絡ください。
※車椅子ご利用のお客様は前日までに教文プレイガイドまでご連絡ください。
※会場にはお客様用の駐車場はございません。お近くの有料駐車場をご利用ください。

チケット取扱

- 教文プレイガイド 011-271-3355
- 道新プレイガイド 0570-00-3871
- 札幌市民交流プラザチケットセンター窓口
- CoRich チケット予約
<https://ticket.corich.jp/apply/104432/>



ワークショップの様子



〔札幌市教育文化会館・子ども事業〕

こんにちは～！一気に寒くなってきたね！寒い季節にも負けず、今年も小・中学生たちが名作にチャレンジしているよ！昨年度まで講師を務めてくれていたyhsの皆さんから、今年はELEVEN NINESさんに代わり、これまでとはまた違った作品になりそう☆今回は「ハックルベリー・フィンの冒険」を題材にした作品の上演をするんだけど、とても面白くなる予感がするよ！僕もとっても楽しみにしてるんだ！年明け早々、みんなで盛り上がっていこうね！



教文大使
コネクートくん
designed by ロケットデザイン